

問題と回答例

Q. Do you think it's good to start learning English from elementary school?

A1下位 回答例



I think that I...I think...so too.
I think...it...aaa...impor...tant for life.

A1下位の特徴

センテンスを使ってアイデアを表現することがまだ**苦手**です。
単語と単語の間に**言いよどみ**が目立ちます。



A1上位 回答例



I think English should be start from in elementary school too.
One reason, ...English is difficult.

A1上位の特徴

1つのセンテンスを使って**簡単なアイデア**を表現することができます。

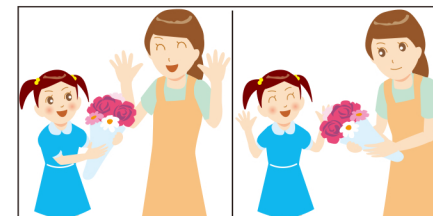
※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

A1下位 → A1上位を目指すための指導案

目標

単語レベルの発話を、センテンスレベル(S+V)の発話にする

(例)



準備物 ピクチャーカード

性別や年齢の異なる2人がある動作をしているカードを複数個用意する。動作はどのカードも同じにし、動作の対象、方向が異なるものにする。センテンスを言わせることが目的のため、単語を言えばどのピクチャーカードかわかるようなものは使用しない。



目安時間

15分

ステップ

1

(全体)

- ピクチャーカードを生徒に見せる。
- ピクチャーカードに描かれている情報を、生徒に英語のセンテンスで言わせる。



ステップ

2

(全体)

- クラスの半分に後ろを向かせる。
- 残りの生徒に新しいピクチャーカードを見せ、一人の生徒に英語のセンテンスで内容を表現させる。
- 後ろを向いている生徒にはそれを聞きとらせる。メモをとってもよいことも伝える。
- そのピクチャーカードを黒板に貼り、そこに他の3つのピクチャーカードを足す。
- 後ろを向いていた生徒に前を向け、正しいカードを当てさせる。



ステップ

3

(グループ)

- 新しい4つのピクチャーカードを黒板に貼る。
- 生徒を4人のグループに分け、教師は同様の4つのピクチャーカードを各グループに渡す。
- ピクチャーの内容が見えないように裏返しにしたまま、各生徒に1つ選んでもらう。
- 他のグループメンバーにカードの内容を隠したまま、順番に内容を英語のセンテンスで答える。
- 全員が発表し終えた後、誰がどのピクチャーを持っているかグループで確認する。



黒板に貼るピクチャーカードに数字をつけ、生徒には数字カードを渡すというのでも可。



POINT

準備時間: この活動では発話の前に生徒に準備時間を与える必要はありません。

教師の関わり方: 英語の発話に慣れることが目標のため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。他の生徒の発話を聞くことで、自分の誤りに気がつき、修正するという、自発的な修正を促しましょう。